

### 町民有志が新潟市内でまつり行列に参加 郷土芸能「横越小唄」を新潟市民に披露

町内の民謡クラブの有志で構成された横越町民謡連盟のメンバー19名が、8月9日に行われた新潟まつりのまつり行列に参加しました。  
メンバーは、紅白の手すりと青い波や花火をデザインしたトラックの荷台に乗り、午前10時30分に万代シティを出発。新潟市長や音楽隊、奉行行列などに続き、当町の参加者たちが三味線や太鼓、歌にあわせて横越小唄を披露すると、集まった観衆から多くの声援や拍手が送られました。暑い中、栗ノ木バイパスまで1時間にわたり一生懸命に踊った皆さんは、全員の浴衣が汗でびっしょり濡れていましたが、「横越町を十分にアピールできた。うまくいってうれしい」と感想を述べていました。

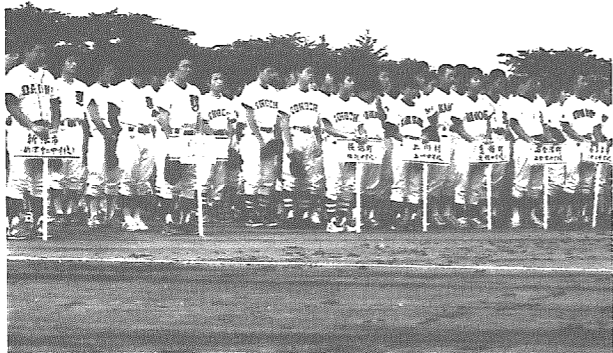


### 恒例の「のぎくの家夏まつり」開催 障害者と地域の人たちが一緒に楽しむ

7月28日、上町の視覚重複障害者施設「のぎくの家」で、子どもたちや地域の方々、ボランティア団体など多くの人が協力して、恒例の夏まつりが開催されました。  
まつりを通してこの施設の様子を知ってもらい、障害者と地域の人たちとの相互理解を深めてもらうために始められたこのまつりは、今年で13回目。中学生による太鼓を皮切りに、のぎくの家に通所者による歌が披露されたり、ふだんの作業で作った手すきハガキや廃油せっけんなどが紹介されたほか、小学生の踊り、有志による神楽舞、腹話術、大道芸、合唱団による歌などが披露されました。また、会場周辺では、生活雑貨、旬の野菜、焼きそば、おでんなどが販売され、にぎやかなまつりとなりました。

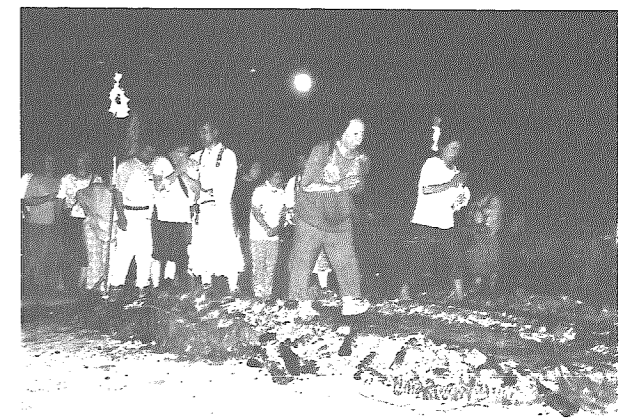
### 横越中学校野球部 1対1の好試合 磐越道沿線の中学生が野球を通して交流

8月5日、福島県郡山市の開成山球場で、磐越自動車道沿線都市交流会議の主催による少年野球大会が、新潟県・福島県の中学校22校の参加により行われました。磐越自動車道沿線の人々の交流を図る目的で、野球大会などが毎年行われています。  
横越町からは横越中学校野球部が参加し、2回戦で鹿瀬中学校と対戦。好試合で1対1のまま試合終了となり、惜しくも抽選で破れてしまいました。今回は3年生だけの参加で、中学生として最後の試合を楽しみました。  
大会は、新津第二中学校が決勝戦で福島県小野中学校を破り、みごと優勝を果たしました。



### 無病息災、家内安全を願って 木津薬師火祭りに多くの人たちが訪れる

7月28日、木津の真言宗光明院で、恒例の薬師火祭りが行われました。  
暗くなり始めた午後7時過ぎ、山伏姿の修行僧たちが境内に入場し、町内外から訪れた多くの人たちが見守る中、弓や剣などを使って儀式を行いました。その後、読経の声とほら貝の音が響きわたる中、山積みされたまきに入ると、白い煙が天高くのぼり、やがて数メートルの高さとなった大きな炎が音をたてて激しく燃え上がりました。  
火の勢いが衰えたところで、いよいよ火渡りの開始。素足になった修行僧が、気合を込め歩き渡った後、一般の人たちが胸の前に手を合わせて願いを込めながら、次々と火床を素足で渡りました。



### お年寄りの方々に楽しんでもらおうと 横雲の里でにぎやかに納涼祭開催

8月19日、阿賀野の特別養護老人ホーム「横雲の里」で、恒例の納涼祭が開催されました。  
提灯灯の中庭では、沢海育成会の子どもたちによる太鼓やサークル寿会の三味線などに合わせて、横越連合婦人会と横越民謡クラブが亀田甚句を大きな人の輪になって披露。さらに、仮装した職員が手作りのみこしを担いだり、多くのボランティアも参加して祭りを盛り上げました。入所しているお年寄りや家族の皆さんは、手拍子を打ったり、一緒に踊ったり、また、すいかやかき氷を食べながらおしゃべりをして、にぎやかな祭りを楽しみました。  
横雲の里では、お年寄りの方々に楽しんでもらおうと、敬老会、クリスマス会などの催しも行っています。



### 北陸農政局長出前講座「生き生きトーク」 「食」と「農」について一緒に考える

8月2日、農林水産省北陸農政局の主催により、役場を会場に「生き生きトーク」が開催され、町農産物加工研究会や農協関係者など25名が参加しました。  
これは、地域の実態に根ざした国民参加型農政の推進と現場主義の徹底を図るため、農業を営む人たちなどとの意見交換を通じて、現場情報の収集と食料・農業・農村情報の提供等を行うもので、北陸4県で開催されています。  
北陸農政局長の谷萩真一氏による「食と農の再生プランについて」と題した講演では、食品の安全性確保や農場から食卓までの食品の生産・流通情報の提供、農業の構造改革などについて説明。参加者から食品表示や生産調整などについて質問が出され、活発な意見交換が行われました。

### 多くの人たちの目を楽しませようと 町民有志が交差点わきに花だんを整備

今、県道に面した保健センター駐車場の一角で、赤・青・黄色などきれいな花々が咲き、たくさんの人の目を楽しませています。  
町の中心地をきれいな花で飾りたいとの思いから、町民ボランティアにより、6月中旬、花だん整備が行われました。まわりの土をふるいにかけて石を取り除き、さらに4トントラック2台分の土を運び、堆肥を加え、枕木で花だんを整えた後、マリーゴールドやケイトウ、サルビアなど10種類約380株の花の苗を植えました。雪がない季節の間はずっと花が咲いているようにと、様々な種類を色のバランスも考えて配置。春には、町内でも多く栽培されているチューリップやスイセンも咲く予定です。



### 夏休みの1日 親子で楽しく科学体験

8月7日、三市中東蒲原郡地区理科教育センターの主催により「2002 なつやすみ わくわく科学体験」が、サンウイング横越を会場に開催されました。  
この催しは、工作や実験を通じた科学体験により、子どもたちが科学に対して興味を持つようにと、毎年夏休み期間中に行われており、今回初めて町内で開催されました。  
午前10時から午後3時までの開催時間中、駐車場は常時満車で、終了1時間前には主催者が見込んでいた入場者数を上回り、材料が不足するコーナーが出るほどの大盛況ぶり。子どもたちは、押し花、プラスチックの小物、立体めがねや色ゴマなどを作成したり、液体窒素の実験など7つのコーナーで起こる様々な現象に歓声をあげ、目を輝かせて体験していました。また、引率の大人たちも一緒になって楽しみました。

